
今日という断片

LIDY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日という断片

【Nコード】

N1064B

【作者名】

LIDY

【あらすじ】

今日はバイト先にお給料を受取にいかなきゃいけないのに、ぐだぐだした1日の断片。

服を着て。

今日はお気に入りの茶色のワンピースにネイビーのキャミを下に着て珍しくジーンズを合わせてエルの赤い鞆、赤い靴、白いマフラー。

化粧をして。

目元をケイトのピンクグラデにしたら似合わなかったからマジョルカ・マジョリカの歌姫メイクパレットのブラウンで引き締めて、マスカラはデジャ・ブとキャンメのマスカラでダメにならないように、唇はマキアージュのベイジュ。

チークはしない。時々顔色悪く見えるけど気にしない。

ここまでして。

行く気がしなくなつて。

なんか疲れた。

なんかダルい。

時間は二時で。行くなら行かなきゃ。髪を切りに行きたい。ブーツ

買いたい。

でも体が動かない。

色々めんどくさい。

座り込んだら、駄目だと思いつながら、ぼけっとしてたら、三時。

一時間、何してたのかわからない。

空白の時間が虚しい。

行かなきゃ。行かなきゃ。

のろのろ鞆をとって玄関に行ったら、親がやけにご機嫌で。

「給料日なんですよ、お土産買ってきて」

思わず、金をたかる時しかお互い関わらないよね、と言おうとした唇を抑えて。

玄関を開けてすぐに煙草をくわえて。なんだか胸がもやもやして、汚い言葉より、傷をえぐるのは、鈍器みたいな鈍い言葉なんだわ、

とか思つて、道路を横切りながら呟いたら、
あたし詩人になれるかしらつて一人笑えた。
バス停についてバスの時間みたら30分待たなきゃいけない。

舌打ちして、煙草に火をつけようとしたら中々つかない。

まだ新しい煙草を捨てて

ヒールで葉っぱをばらばらになるまで執拗に踏みつけたら
何かを殺したような気がして、

お申いが必要でもう一本に火をつけたら綺麗に燃えた。

もうすぐバスが来る。

バイト先では幸せなあたしを爽やかに演じて、
来年もまた来させて下さいって、言おう。

お金もらって市内でケーキを買って帰るわ。
幸せなもの。

偏りなく幸せ。

(後書き)

読んで頂きありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1064b/>

今日という断片

2010年11月11日07時48分発行